

農地・水・環境保全だより 第7号

編集・発行 三重県農地・水・環境保全向上対策協議会

平成22年度農地・水・環境保全向上対策 伊賀地区事例発表会が開催されました

本年で2回目となる伊賀農林商工環境事務所管内における、農地・水・環境保全向上対策に取り組む活動組織の事例発表会が、平成22年10月22日に県伊賀庁舎において開催され、管内の40の活動組織（伊賀市33組織、名張市7組織）から代表者など80数名の参加がありました。

農地・水・環境保全向上対策については、採択後4年目あるいは3年目の取組となり、農業者だけでなく、多くの地域住民の理解と参加により活動内容も充実し、農業用施設の整備、環境向上をはじめとして、農村地域の活性化にも役立っています。

発表会は、福岡伊賀農林商工環境事務所農村基盤室長のあいさつのあと、県農業基盤室の野村主幹から、平成23年度からの制度改正の概要（農地・水保管理支払交付金等）と、来年1月15日に開催される「みえのつどい2010」についての説明があり、続いて伊賀市の4組織、名張市の2組織から、農地・水・環境保全向上対策に係るそれぞれの特徴的な取組についての発表が行われました。

その後、住民参加による地域おこしを支援する「美し国おこし・三重」について、北勢地域担当プロデューサーの志村和浩さんから説明を受け、平成22年度の伊賀地区事例発表会を終了しました。



【福岡室長挨拶】

・服部地域保全会（伊賀市）

向上活動について、土水路を計画的にライニング（U-300、U-400、U-600）するとともに、景観活動として農道（通学路）へのツツジの植栽を行っています。また、地域の環境活動として、地区内の一般的な清掃はもちろんのこと、不法投棄されたゴミの処分を行うとともに、「ゴミ捨て禁止」の啓発看板を設置しています。

・コスモスの里比自岐保全協議会（伊賀市）

協定農用地が137haと広範囲ですが、獣害柵の設置、農道、水路および井堰の補修などを計画的に実施しています。また、夏のほたる祭り、秋のコスモス祭りには、地域住民一体となった取組を行っています。特にコスモス祭りには、伊賀市内外からも多くの市民が訪れ、比自岐地域の大きなイベントとなっています。

・依那具の環境を守る会（伊賀市）

「花の輪」から「地域の輪へ」を活動の基本とし、農道沿いに春はチューリップ、夏はコスモス・ひまわり、秋はサルビアなど四季を通して花いっぱい運動を行っています。特に、コスモスは伊賀鉄道添いの遊休地に植えられ、マスコミにも取り上げられています。また、農道や水路の補修も構成員が重機を出すなど自分たちで行っています。

・山畑環境を守る会（伊賀市）

当地域は山間部に位置するため、野生鳥獣による被害の軽減が地域の大きな課題となっており、全域で獣害防止柵（オーダーメイドの防止柵）の設置を行っています。また、環境活動として、高校生と協働でのビオトープ池の造成、遊休農地を利用したコスモスの植栽など、地域の環境保全にも積極的に取り組んでいます。

・滝の原農地・水・環境保全活動隊（名張市）

中山間地域に位置し協定農用地面積69haですが、背後には住宅団地があり、団地住民との交流も多く行われている地域です。環境活動については、小学校との連携による田植え、稲刈り体験、農道沿いへの苗木の植栽などを行い、その他の活動についても各種団体との連携により積極的な取組が行われています。

・丈六農地・水・環境保全隊（名張市）

農家の大半が小規模の第2種兼業農家の地域ですが、ヒメイワダレ草の植栽、子ども会と連携した遊休地へのさつまいも、トウモロコシの植付けなど、地域と一体となった取組を行っています。また、有機堆肥の投入による土壌改良、外来種であるヌートリアの駆除など、地域の環境を守る取組みも積極に行っています。



【事例発表会の様子】

平成22年度農地・水・環境保全向上対策四日市管内事例発表会 「三泗鈴亀農地水の絆」が開催されました

平成22年12月7日（火）に三重県四日市庁舎において、四日市管内の農地・水・環境保全向上対策に取り組む活動組織（四日市市、鈴鹿市、亀山市、菰野町）と今年は桑名管内の活動組織の関係者も含めて117名の参加者を集めて「三泗鈴亀農地水の絆～私たちの地域での絆を深めるために～」が盛大に開催されました。

農地・水・環境保全向上対策も4年目に入り、それぞれの活動組織が地域に合わせた特色のある活動を行っている中で、この発表会は各活動組織の情報共有と意見交換という意味合いで昨年度から管内の活動組織を集めて、相互の交流を目指して行っているものです。

発表会は、四日市農林商工環境事務所の山本直佐所長の挨拶の後、東海タナゴ研究会の北島淳也代表が「地域で守る身近な里川」と題し、里川の生物多様性とため池の2つのキーワードを通じ、里川保全の必要性と里川保全を利用したまちづくりについての基調講演を行い、続いて「美し国おこし・三重」について美し国おこし・三重プロデューサーの志村和浩氏より取り組み方の説明がありました。



【山本所長挨拶】



【北島代表による基調講演の様子】

休憩をはさみ、「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰、ため池百選、田園自然再生活動コンクール「オーライ！ニッポン賞」など数々の表彰を受賞した田光資源と環境を守る会から最近1年間の活動事例の報告があり、その後、各市町を代表する活動組織より取り組みについて発表がありました。

最後に、参加者と農政局、県、連合会との意見交換が行われ、最終年度の活動、平成24年度以降の活動について様々な質疑応答がなされ、有意義な発表会を終了しました。

・小倉資源環境保全会（四日市市）

市街化が進む地域であるが、優良な農地を地域の財産として活用するため、積極的な農地保全に加え、あじさいの植樹・観察会の開催、古代米による「田んぼアート」など非農家を取り組んだ活動を行い、新聞など多くのメディアに取り上げられて大きな広報効果を上げている。

・甲斐町水郷会（鈴鹿市）

農地の保全部管理を行うと共に、用水路の改修（底打ちコンクリート）を行い良好に施設を管理している。また、地域との交流活動として、コスモスの写生大会やコスモス祭りを開催し、農業用水路沿いに植物を設置したり、鯉を飼ったりして地域用水として活用している。

・山下環境保全会（亀山市）

基盤整備後の維持管理や補修作業、景観に配慮した取り組みとしてため池周辺の公園や休耕地を利用した梅の植栽や、桜やあじさいの植栽祭を行い、「山下デー」として地域の交流を図っている。また、小学校との連携により小麦の種まきから収穫体験までを実施し、子供達が参加することにより付き添いとして非農家の若い親も参加するので地域の交流が増え、若い人たちが出合いに参加してもらえるようになった。

・うがわら自然を守る会（菰野町）

美しい自然にマッチした菜の花やコスモスなどの景観作物の水田への植栽や農道路肩へのあじさい、水仙、松葉ボタン、ヒメイワダレソウなどの植栽。地域との交流として昔からの鶉の里祭りや相撲大会を促進し、学校教育と連携して幼稚園のカワナナの放流や小学校のサツマイモ園の体験などを応援している。

「平成22年度 農地・水・環境保全向上活動報告会」開催 （勢和図書館・多気町勢和地域資源保全活用協議会 連携）

去る12月11日（土）、勢和図書館会議室において、「平成22年度 農地・水・環境保全向上活動報告会」が多気町勢和地域資源保全活用協議会の構成員・自治会・ボランティアなどや他地域からの参加者も加え、約80人が参加し開催されました。

第1部の報告会では、協議会長の林道郎氏、多気町長の久保行男氏、三重県農水商工部農業基盤整備分野総括室長の岩崎光雄氏の挨拶、来賓紹介の後、高橋事務局長がパワーポイントを用いて平成22年度の農地・水・環境保全向上活動の状況や成果を報告しました。



【林協議会会長挨拶】

続いて、基礎部分・農地・水向上活動・農村環境向上活動の優良活動の表彰が行われ、今年度は遊休農用地等の発生防止と復旧後の有効活用を主な活動テーマとして3地区（下出江地区、車川地区、波多瀬地区）が受賞し、表彰後、受賞地区の構成員が、地区での苦労話と今後の思いを一言ずつ語りました。



【メダカのコタロー劇団】

協議会副会長の大前誠一氏の中締め挨拶の後、休憩をはさみ、会場を勢和図書館エントランスホールに移し、第2部の農地・水・環境保全向上活動が行われました。

まず、勢和保育園児が元気一杯にイメージソング「水土里」などのふるさとの合唱をスタートに、「地域で農地・水・環境を守ろう」を合言葉に兵庫県で活動している「メダカのコタロー劇団」による「環境アニメ紙芝居」、そして、見て学んだことをクイズ形式で復習する「ハグハグ環境学校」などで楽しみ子供たちは自然環境の保全や生態系を楽しく学び、最後にコタロー劇団との「ハグハグジャンケン」でコタローシールをプレゼントされ、大喜びのうちに第2部が閉会しました。

田光資源と環境を守る会が

田園自然再生活動コンクールで「オーライ！ニッポン賞」を受賞

去る10月18日（月）に国立オリンピック記念青少年総合センターカルチャー棟小ホールで「平成22年度 田園自然再生セミナー」が開催され、その中で行われた田園自然再生活動コンクールにおいて菰野町で積極的に活動している「田光資源と環境を守る会」が「オーライ！ニッポン賞」を受賞された。

田園自然再生活動コンクールは、平成15年度から農林水産省が環境省と連携して、農村地域において、農業者、地域の方々、NPOなどが協力して、農業生産との調和を図りながら取り組んでいる自然環境の保全・再生活動（田園自然再生活動）の中から優良団体を表彰しているもので、今回で8回目となる。

本年度は全国41都道府県からNPO法人、農業者団体等109団体から応募があり、その中から6団体が選ばれた。

「田光資源と環境を守る会」は、農家、地域住民、都市住民が連携し、ため池に入り込んだブラックバスなど外来種の駆除、水槽等で飼育したヨシノボリ等在来種の放流を行い、恵まれた自然環境の中にある地域の生態系の再生・保全に取り組みとともに、景観作物を利用したイベント開催によって都市住民との交流を深めている。生態系保全活動やイベントを通じて、県内外を問わず多くの都市住民との連携・交流を図っている点が評価された。



【受賞された諸岡会長（前列右端）】

活動組織情報

・ななわ農地・水・環境保全会（桑名市）

当保全会は、平成19年度からスタートした国の「農地・水・環境保全向上対策事業」の要綱等に基づき、「ななわ農地・水・環境保全会」の名で平成20年4月1日に発足いたしました。当地区は桑名市の西部に位置し、実質従前の田んぼ名から7つの地区が一緒になり、当時面積計約82ha、260戸、農家組合員数約370人の構成員でありました。

1. 組織については、農家組合員・自治会・子ども会・PTA・老人会・JA・水土里・行政等、幅広くメンバーを募り、その活動部隊は実行班の名で①環境保全班（基礎部分）②景観保全班（基礎・誘導部分）③生態系保全班（誘導部分）④企画運営班（自己啓発・教育啓発）の4班の組織で活動し、班同志の助け合いは勿論、全体での事業も実施しています。



【ごみ・缶拾い】

2. 主たる活動内容は、上述の①は土手・畦の草刈、用排水の泥上げ、農道用排水の保全修理とごみ・缶拾い、小河川の雑木切りなど、年に共同作業が3回、ごみ缶拾いなどの環境保全と施設の点検・管理が年3回、等々活動は多岐にわたっています。②は年1回の彼岸花の植栽と

維持管理、景観観賞と写真展示、啓発看板の設置とイベントへの参画など、特に彼岸花植栽とその周辺彼岸前の草刈に力を注いでいます。③は子供達と川の生き物調査・希少動植物の観察調査など、年3回実施しています。④は会員の自己啓発のための「農業と環境」「営農集落のあり方」などの研修会の実施、特に地元小学校との連携を密にし、1年生はさつま芋の植え・収穫、5年生は田植え・稲刈等の体験農業、全校での餅つき収穫祭を実施します。本年22年には農業祭りを試みました。



【小学生によるさつま芋の苗植え】

今後の課題と展開については、①農業の多面的機能の理解 ②地域の活性化 ③生産者と消費者の信頼と絆の回復 ④年配者から若者への繋ぎ ⑤住民への農業の理解 ⑥当保全会の事業のPRなど、課題は山積みしていますが、NGO（仲良く・元気に・大らかに）、NTT（仲間を多く作り・繋がりを持って・助け合いの精神）の意気で所期の目的を達成するため一同頑張る所存であります。皆様からのご意見・叱咤激励をお待ち申し上げます。

・市木地区田んぼを守ろう会・^{こうのぎ}神木の里（南牟婁郡御浜町）

私たち、市木地区田んぼを守ろう会（田んぼ会）と神木の里は、御浜町内のほ場整備された市木川沿岸土地改良区の水田と御浜土地改良区の畑、また東地地区の田畑を対象にそれぞれ組織をつくり、田んぼ会は平成19年度から、神木の里は平成21年度から活動に取り組んでいます。以前から行っていた農繁期前の各田人（たど）による水路の泥上げ、配水操作、および地域の道普請（みちぶしん）を基に水路・農道の補修を行っていましたが、事業開始後田んぼ会では年1回の道普請時に地域住民と協力し農道の草刈りを行っており、神木の里では神木育成会の小学生と交流し、非農家の農地を守っていこうという意識が高まり、耕作放棄地の解消を行う活動を計画しております。



【道普請農道の草刈】
（市木地区田んぼを守ろう会）



【神木育成会の小学生による芋の苗植え】
（神木の里）



【みかん祭り ブース】

平成22年10月31日（日）に御浜町が主催で開催された「みかん祭り」に参画しました。ブース内では活動内容を紹介した景観作物のPR、そしてさらなる景観形成の向上を図るためにアンケートを実施し、回答者には活動対象地区で収穫されたお米・みかんを景品といたくじ引きを行い、大勢の人で賑わい盛況でした。アンケートの結果、来場者101名から回収し、うち70名が景観作物について「知っている」と回答を得て、たまたま通りがかりに景観作物を見つけた人がほとんどでした。本年度、田んぼ会ではコスモス4,965㎡、れんげ547㎡、神木の里ではコスモス2,178㎡、れんげ1,026㎡の田にそれぞれ種を撒き、「みかん祭り」に合わせたかのように神木のコスモスが満開となり、散策する人の目を楽しませていました。

投稿募集のご案内

活動組織のみなさまの活動状況など、どんどん投稿してください。

投稿先
〒514-0006
津市広明町330番地（三重県土地改良事業団体联合会内）
三重県農地・水・環境保全向上対策協議会
TEL 059-226-4824 FAX 059-225-7332